

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 65 号
医療法人 せ、らき会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
(パソコン) <http://www.ukita.gr.jp>
(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2006年10月5日(木)
発行者：浮田 徹也



先日、山帰来を描いたタペストリーに出会った。もう二〇年も前、私の師匠に「勿誤方函口訣（漢方の古医書）の竜胆瀉肝湯の条文の解説をしていただいたことがある。婦人の外陰部搔痒や疼痛（単純性ヘルペス、ペーチェット病）、臭気のあるおりものを伴う細菌性膣炎には、竜胆瀉肝湯に山帰来を追加するとよいと書かれていた。その後、彦根で師匠と散歩した際、「これが山帰来だよ。奇良ともサルトリイバラとも言う。『和漢三才図会』に『楊梅瘡（梅毒）の重い者は山に捨てられる習慣があり、これを飲んで治って帰って来たところから山帰来と名付けられた』と教えてくれた。こんなかわいい赤い実をつけているのに根は解毒作用があり、膣炎や梅毒などに応用されてきたのか。それ

漢方薬のよさ(65) 子宮筋腫II



にしても山野にある植物をよくぞ見つけたものだと感じしました。お店の人は「このあたりの山に生えていますよ。」と。クリーム色の麻地に茶色の茨と赤い味が可憐に描かれていた。今月は子宮筋腫のお話です。月経過多のための貧血、月経痛、



コスモス（安曇川町）

腰痛などの頻度が高く、子宮に発生する良性腫瘍ですが、閉経により退縮します。超音波検査、血液検査、MRI検査などで、卵巣腫瘍、子宮肉腫と鑑別すれば経過を見ることが出来ます。治療法は、手術、ホルモン剤（リユープリン、ダナゾール）、子宮動脈塞栓（保険適応はない）、MRIガイド下集束超音波治療（保険適応はない）などがあります。当院では、筋腫の診断を十分に実施した上で、微小循環障害（瘀血）が原因で起こる過多月経（貧血）、腰痛などの治療に漢方薬を使用して成果をあげています。では実例に移ります。

四十四歳女性、子宮筋腫、貧血、過多月経、めまい、手足の冷え、手の平や足の裏のほてり。青白い顔、腹力は軟弱、胸脇苦満、心下痞、胃内停水、臍上悸、左臍傍に抵抗と圧痛、下腹部膨満。脈は沈、弱、数。舌は暗紫紅色、乾薄白苔。超音波検査で8cm漿膜下子宮筋腫、4cm子宮筋層内筋腫（子宮内腔変形）が見つかった。そこで、柴胡、桂枝、茯苓、牡丹皮、桃仁、芍薬、当帰、川





芍、熟地黄、枳実、人參、白朮、大棗、生姜、半夏、陳皮、甘草を毎日服用し、生理中は田七人參を併用するよう処方。一ヶ月後、月経量減少。六ヶ月後、貧血、冷え、手足のほてりなど消失。六年後も継続中、筋層内筋腫2cmに縮小、8cm漿膜下筋腫不変。三十六歳女性、**子宮内膜症**、月経痛、月経前緊張症状（イライラ、乳房痛、便秘）、性交痛、頭痛、冷え症。青白い顔、腹力は弱く、胃内停水を認め、脈は沈細、遅。舌は淡暗紅色、湿白苔。子宮筋層の肥厚、右卵巢チョコレート嚢胞（5cm）、ダグラス窩の抵抗と圧痛と硬結。そこで、芍歸調血飲第一加減＋サフランを処方。二ヶ月後、月経前緊張症状の消失。四ヶ月後、月経痛、性交痛の消失。二年後、右卵巢チョコレート嚢胞（3cm）。五年後、右卵巢チョコレート嚢胞ほぼ消失。体調を維持するため続服中。

二十二歳男性、**慢性扁桃腺炎**、年中喉が痛い、扁桃腺炎を起こすと高熱、食事が摂れなくなる（一年に六回）、鼻閉、便秘はない。

顔は青黒く、胸脇苦満、心下痞硬、臍傍抵抗と圧痛と圧痛、脈は弦、浮数。舌は、紫紅色、薄乾黄苔。そこで、柴胡清肝湯＋黄連解毒湯を処方。二ヶ月間、扁桃腺炎を発症しなかった。六ヶ月間、一回軽い扁桃腺炎にかかった。三年後、年一〜二回軽度の感冒にかかる程度になった。六年後廃薬。

二十七歳女性、**妊娠二十四週切迫早産**、下肢の冷えとむくみめまい。類は少し赤く、腹力は中程度、胃内停水、下腹部に時々収縮する妊娠子宮を触れる。脈は細、弱、遅。舌は淡紅色、薄湿白苔。子宮頸管長20・5mm。そこで、当帰芍薬散とウテメリンを処方し、自宅安静を指示。一週間後、子宮頸管長30mm、子宮収縮の頻度減少。ウテメリンは妊娠三十五週まで、当帰芍薬散は分娩まで継続し、三三三〇gのベビーが生まれた。次回、鍼についてです。



〔院長〕



子宮内膜症

月経痛、過多月経、性交痛、腰痛、肛門痛、排便痛、排卵痛、便秘（月経時は軟便傾向）で、イライラ（特に月経前）しやすく、不妊症の原因の50%を占めています。

漢方薬で子宮（骨盤）の血行が改善し、体質が変わり多くの症状がなくなります。癒着が強く、大きいチョコレート嚢腫の方にはホルモン治療も併用することがあります。



慢性扁桃腺炎

急性扁桃炎を繰り返し、咽頭不快感、咳嗽、微熱、病巣感染、掌蹠膿疱、鼻閉、いびき、注意散漫、頭痛などの症状を伴うことがあります。膿汁を常に認める場合、手術が必要な場合もありますが、うがいをよくし、過労、心労にならないよう気をつけ、漢方薬を服用することによって改善することもあります。



切迫早産

もともと冷え症で、むくみやすい人（水毒、陰証）は妊娠中、お腹が張りやすくなります。むくみやすいか、胃腸虚弱はないか、疲れやすいか、冷えやすいか、便秘はないかなどを参考に漢方薬を決定します。更に、腔炎を起こしていないか、子宮頸管細菌培養検査や顕微鏡検査で調べて治療することも大切です。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。
当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかりと蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。
漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
 - ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。
肩こり、腰痛、膝関節痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります。
(予約制、2回/月)。午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇電湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き処置の欄にチェックして下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、アトピー性皮膚炎、ストレス・・・などの治療に利用しています。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス ・メシマコブ
- ・靈芝 ・AHCC ・サメ軟骨

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30 (予約は2:00～3:00)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約不要) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分

10月7日、10月14日、11月11日、11月25日、12月2日、12月9日 電話予約可。1月2回(日程はホームページ、掲示板参照)。

◇更年期外来(月～土曜日)(予約不要): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日)(予約不要): 赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日)(予約不要): 妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 10月7日、11月18日、12月2日の各土曜日

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員8名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約お願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。

立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前のお記入をお願いします)

後 期 - 母 親 教 室

日時: 10月14日、21日、25日(水)、11月4日、11日、22日(水)の各土曜日

対象: 妊娠8～10ヶ月の方(定員8名位)(無料)

母親教室のお知らせ

胎児人形、ねねちゃんがお目見えしました。お腹の中のあなたの赤ちゃんはいまどれくらい? 目で見て、触って赤ちゃんを感じてみて下さい。
* 前中期で安産体操、後期で呼吸法、分娩体位の練習を行いますので動きやすい服装でおこしください



人参(漢方薬)

当院で使用している人参には「吉林産人参」「髭人参」「竹節人参」「紅参」「田七人参」があります。各器官の機能増進作用(元気を増やす)、神経系興奮作用(記憶、智恵、思考力)、性腺刺激作用(卵巣、精巣)、強心作用(心臓の収縮力)、血糖降下作用、消化吸収促進作用、抗アナフィラキシー作用(アレルギー) 抗利尿作用(尿量減少)、止血作用などの働きがあります。色々な漢方薬の中に含まれています。たとえば、補中益気湯、六君子湯、人参湯、人参養榮湯、小柴胡湯、半夏瀉心湯などに入っています。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。
ご予約には、分娩予約カードと予約金10万円が必要です。
予約された方には、母と子のてびきをお渡します。

パソコンホームページ
(<http://www.ukita.gr.jp>)

産婦人科のページ (入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ (外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ (在宅療養の支援)
健康のページ (健診、プライダグチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)
周辺の観光地など掲載(滋賀県)。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて ウッキー! DRウッキーの悩み相談
婦人科 産科 漢方科 友達に教える
外来診療のご案内などを掲載(i-mode対応)

母乳相談(助産師)

母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
(電話予約可) 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。(月～金曜日)
日程は掲示板やホームページでお確かめください。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

助産師(常勤、パート)。面接: 随時、
各種保険加入、賞与: 年2回、交通費支給。